

図書館かがわ

—香川県立図書館報—



第144号

2024年9月



巻締機で缶詰のふたを閉めました

—香川県立図書館移転開館30周年記念行事 「カンヅメをつくって学ぼう！」を開催しました—

8月6日に、小学生がものづくりの楽しさに触れることができ、夏休みの自由研究のヒントになるイベントを開催しました。

9組21名の参加があり、香川県立多度津高等学校の生徒による缶詰の授業の後、参加者が持参した物を入れたオリジナル缶詰をつくりました。



缶詰の歴史や缶詰の食品がなぜ腐らないかなど、缶詰について学びました。

この本オススメです！

～クジラの本～

9月4日は数字の語呂合わせで「くじらの日」。これは日本鯨類研究所が鯨と日本人の共生を考える日として制定しました。

クジラは、日本では縄文時代より捕獲されており、奈良時代末期頃に成立したとみられる万葉集には、「鯨魚取」(いさなとり)を枕詞に詠んだ海の歌が収められています。そして、今でも郷土料理としてお正月や夏の土用の日に食べる習慣が残っている地域もあります。

今回は、古くから私たちの生活に関わりのあるクジラについての本を紹介します。



『海にしずんだクジラ』
メリッサ・スチュワート／文
ロブ・ダンラヴィ／絵
(BL出版)
請求記号:J/D200

一生を終えたクジラは海の底にゆっくりと沈み、その後50年もの長い間、様々な生き物を支え続けます。最近になり、少しずつ明らかになってきたクジラが生を終えた後の世界をそっとのぞくことができる絵本です。

5000万年前のクジラの先祖は、陸上に住んでいた哺乳類の仲間でした。海で暮らすようになったクジラは、どのように体をつくりかえ、今の姿になったのでしょうか。二度と同じように繰り返すことはない生き物の進化を感じることができる絵本です。



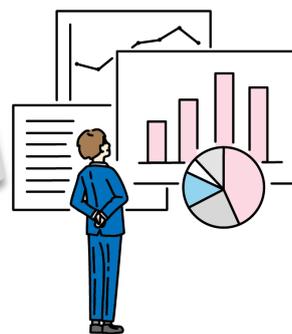
『クジラのおなかに入ったら』
松田 純佳／著 (ナツメ社)
請求記号:4896/M13

著者は、クジラの研究者です。漂着したクジラの胃の内容物から生態を調査する、研究の日々が生き生きと語られています。



『クジラの進化』
水口 博也／文 小田隆／絵
(講談社) 請求記号:J/O309

令和5年度 香川県立図書館の 図書館評価を実施しました。



香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施しました。

評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち評価A（数値目標の達成率100%）が6項目、評価B（数値目標の達成率80%以上100%未満）が6項目となりました。

詳細は、県立図書館ホームページに掲載しています。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,130,000冊	1,129,868冊	99.9%	B
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,315冊	100.7%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	380,000人	400,964人	105.5%	A
	④ 新規登録者数	3,200人	2,763人	86.3%	B
	⑤ 個人貸出冊数	810,000冊	741,992冊	91.6%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,300件	1,259件	96.8%	B
	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	5,605冊	86.2%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	9,000冊 団体3,000冊 学校6,000冊	8,905冊 団体3,345冊 学校5,560冊	98.9%	B
	⑨ 来館者満足度	90%以上	91%	101.1%	A
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	345,000件	366,670件	106.3%	A
	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	78回	130.0%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け 7回以上)	20回 (8回)	100.0% (114.3%)	A (A)

評価A：数値目標を達成した（達成率100%以上）

評価B：数値目標を概ね達成した（達成率80%以上100%未満）

評価C：数値目標を下回った（達成率80%未満）